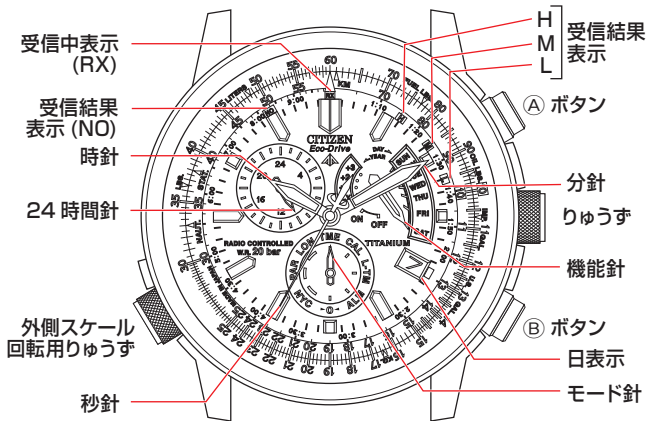


E60x 簡易操作ガイド

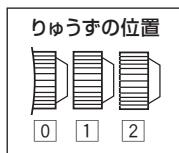
- ・この時計はソーラーパワーウォッチです。文字板を光に当てて、十分に充電された状態でお使いください。
- ・充電時間 / 仕様 / 操作の詳細は、Webマニュアルご参照ください。

<https://citizen.jp/support/guide/html/e60/e60.html>

各部の名称



- ・モデルによってデザインが異なります。
- ・スケールやベゼルなど外装機能についての詳細は、弊社ホームページも併せてご覧ください。



モードを切り替える

8つのモード、[TME] (時刻)、[CAL] (カレンダー)、[L-TM] (ローカルタイム)、[ALM] (アラーム)、[▶ 0 ◀] (基準位置修正)、[NYC] (ニューヨーク時刻)、[PAR] (パリ時刻)、[LON] (ロンドン時刻) を切り替えます。

1. りゅうずの位置を **1** にする
秒針が 30 秒を指して停止します。
2. りゅうずを回して、モードを切り替える
モード針が動いて、モードが切り替わります。
3. りゅうずの位置を **0** にして、終了する

電波受信の結果を確認する

・この時計は、日本の標準電波を毎日午前 2 時に受信し、時計 / カレンダーを自動で合わせます。午前 2 時に受信できなかったときは、午前 4 時に再度受信を試みます。

1. モードを [TME][L-TM] にして、りゅうずの位置を **0** にする
2. **(B) ボタンを押す**
秒針が動き、前回の電波の受信結果を指します。

表示	受信結果
H	非常に良い環境で電波を受信したとき。
M	成功 良い状態で電波を受信したとき。
L	良くない状態で電波を受信したとき。
NO	受信に失敗したとき。(手動で受信を行ってください)

- ・受信に失敗している場合は、「電波を手動で受信する (強制受信)」の手順に従い、電波受信をしてください。
3. **(B) ボタンを押して、終了する**
現在の時刻に戻ります。
 - ・ボタンを押さなくても、約 10 秒すると自動で現在の時刻に戻ります。

電波を手動で受信する (強制受信)

・受信が完了するまでに、2 分から 15 分程かかります。

1. モードを [TME][L-TM] にして、りゅうずの位置を **0** にする
2. **(B) ボタンを 2 秒間以上押し続ける**
確認音の後、秒針が「RX」を指し、電波受信を始めます。受信が終了すると、秒針が通常の動きに戻ります。
受信に成功した場合：ピピッと音が 2 回鳴り、修正された時刻を表示します。
受信に失敗した場合：ピッと音が 1 回鳴り、時刻は修正されず、現在の時刻に戻ります。

ローカルタイムを設定する

他の地域の時刻を表示することができます。

・[TME] の時刻を基準に、- 20 ~ + 3 時間の範囲 (1 時間単位) で時刻を設定できます。

1. モードを [L-TM] にして、りゅうずの位置を **2** にする
2. りゅうずを回して、針をローカルタイムの時刻に合わせる
 - ・りゅうずを素早く回転させると、針が連続して動きます。りゅうずを少し回すと止まります。
 - ・24 時間針を見て、午前 / 午後を間違えないよう注意します。
3. りゅうずの位置を **0** にして、終了する
カレンダーが設定した時刻に合った日と曜日に変わります。

他の都市の時刻を見る

ニューヨーク、パリ、ロンドンの 3 都市の時刻を表示します。

・各都市の時刻は [TME] の時刻を基準に表示します。

1. りゅうずの位置を **1** にする
秒針が 30 秒を指して停止します。
2. りゅうずを回して、表示したい都市にモードを合わせる
3. りゅうずの位置を **0** にして、終了する
合わせた都市の時刻が表示されます。

サマータイムを設定するには

モードが [NYC]、[PAR]、[LON] のとき、サマータイムを設定することができます。

1. りゅうずの位置を **2** にする
機能針がサマータイムの「ON」または「OFF」を指して停止します。
2. **(A) ボタンを押して、サマータイム設定を変更する**
 - ・(A) ボタンを押すごとに確認音が鳴って、サマータイムの ON/OFF が切り替わります。「ON」にすると、時刻の表示が 1 時間進みます。
3. りゅうずの位置を **0** にして、終了する

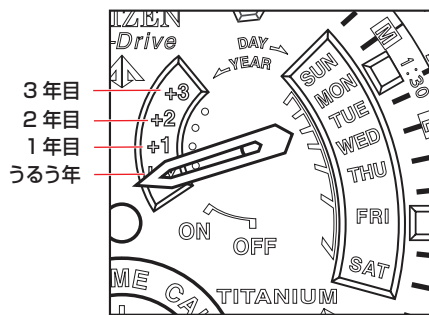
時刻を手動で合わせる

1. モードを [TME] にして、りゅうずの位置を [2] にする
秒針が、連続回転したあと通常の運針に戻ります。
2. ④ ボタンまたは ⑥ ボタンを押す
秒針が 0 秒を指して停止します。
3. りゅうずを回して、時刻を合わせる
・りゅうずを素早く回転させると、針が連続して動きます。りゅうずを少し回すと止まります。
・24 時間針を見て、午前 / 午後を間違えないよう注意します。
4. 時報に合わせて、りゅうずの位置を [0] にする
秒針が動きはじめます。

カレンダーを手動で合わせる

・この時計のカレンダーは、うるう年を含む 2100 年 2 月 28 日まで、修正不要です。(パーペチュアルカレンダー)

1. モードを [CAL] にして、りゅうずの位置を [2] にする機能針が現在の設定の年を表示し、秒針が月を表示します。
2. りゅうずを回して、年を合わせる
・機能針が、うるう年からの経過年数を表示します。うるう年からの経過年については、サポートページに詳しい解説があります。



3. ④ ボタンを押す
秒針が回転して、月が合わせられるようになります。
4. りゅうずを右に回して、月を合わせる
・りゅうずを左に回して合わせることはできません。
・秒針の指す時刻が、月に対応します。
1 時 : 1 月、2 時 : 2 月、… 11 時 : 11 月、12 時 : 12 月
5. ④ ボタンを押す
機能針が往復運動のあと曜日を指して、日表示が合わせられるようになります。
6. りゅうずを回して、日表示を合わせる
・りゅうずを素早く回転させると、日表示が連続して動きます。りゅうずを少し回すと止まります。
7. ④ ボタンを押す
機能針が往復運動のあと曜日を指して、曜日が合わせられるようになります。
8. りゅうずを回して、曜日を合わせる
9. りゅうずの位置を [0] にして、終了する

アラームを使う

[TME]、[L-TM]、[NYC]、[PAR]、[LON] の各モードで使用できます。

1. モードを [ALM] にして、りゅうずの位置を [2] にする
時針、分針、24 時間針が現在のアラーム設定時刻を示し、機能針が現在のアラーム設定 (ON/OFF) を示します。

2. りゅうずを回して、アラーム時刻を設定する
・アラーム時刻の午前 / 午後区別は、24 時間針で確認します。
・りゅうずを素早く回転させると、針が連続して動きます。りゅうずを少し回すと止まります。
3. ④ ボタンを押して、アラームを ON にする
・④ ボタンを押すごとに確認音が鳴って、アラームの ON/OFF が切り替わります。
4. モードを、アラームを鳴らしたいモードにして、終了する
・選んだモードでアラーム設定時刻になると、アラームが鳴ります。
・モードが [CAL]、[ALM]、[▶◀] のときは、アラームは鳴りません。

アラームの ON/OFF を切り替えるには

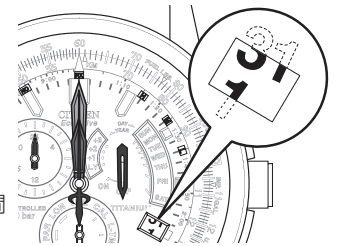
[ALM] モードで ④ ボタンを押します。

アラーム音をとめる

- ④ ボタンまたは ⑥ ボタンを押します。
- アラーム音は、15 秒間鳴ります。

基準位置を確認する

1. モードを [▶◀] にして、りゅうずの位置を [0] にする
各針と日表示が動き、現在の基準位置を表示します。
・針と日表示が動いている間は、操作することはできません。
・正しい基準位置：
時、分、秒、24 時間の各針：12 時位置
機能針：OFF
日表示：「3」 と 「1」 の間



現在の基準位置が正しい基準位置と異なるときは、「基準位置を修正する」に従って、基準位置を修正します。

2. モードを [TME] にして、終了する

基準位置を修正する

1. モードを [▶◀] にする
各針と日表示が動き、現在の基準位置を表示します。
2. りゅうずの位置を [2] にする
秒針が回転したあと止まり、秒針の基準位置が修正できるようになります。
3. ④ ボタンをくり返し押して、修正する針 / 表示を選ぶ
・ボタンを押すごとに、次の順番で修正対象が切り替わります。
秒針 → 時針 / 分針 / 24 時間針 → 日表示 / 機能針 → (始めに戻る)
・針が少し動いて、修正対象になったことをお知らせします。
4. りゅうずを回して、針 / 表示を修正する
・秒針の修正は、りゅうずを右に回して行ってください。左に回して合わせることはできません。
・機能針は 5 回転すると日表示が 1 日切り替わります。
・りゅうずを素早く連続回転させると、針 / 表示が連続して動きます。動きを止めるには、りゅうずを左右どちらかに回します。
5. 手順 3 と 4 をくり返す
6. りゅうずの位置を [0] にする
7. モードを [TME] にして、終了する